

徳之島事務所（令和5年12月分）管内情勢

農林水産業関連

1 徳之島地区青年農業者会議で活発な質問が飛び交う

12月8日に徳之島町で徳之島地区青年農業者会議を開催し、農業者及び関係機関・団体の34人が参加した。

会議では意見発表、プロジェクト発表、研修報告があり、計3人が発表及び報告を行った。意見発表では、畜産農家が就農するまでに経験した内容や今後の営農目標について発表し、プロジェクト発表では繁殖改善プログラムによる牛の人工授精技術向上の取組について発表した。プロジェクト発表では参加者から活発な質疑があり、充実した内容の会議となった。



2 さとうきびハーベスタオペレータ研修会にて農作業安全を周知

12月18日に徳之島町で徳之島さとうきび生産対策本部主催のハーベスタオペレータ研修会が開催され、ハーベスタオペレータ及び関係機関約120人が参加した。

研修会では、ハーベスタの始業前後の保守点検のポイントや過去のさとうきび収穫時の重大事故の事例を交えた安全対策について、農機メーカーの担当者が分かりやすく説明し、農作業安全への意識向上が図られた。農業普及課では、農作業事故防止に向けた啓発活動を継続して行っていく。



3 畑かんマイスター，石垣島にて畑かんを活用した先進事例を学ぶ

11月29日から12月1日にかけて，沖縄県石垣島で畑かんマイスター連携会議の先進地研修を実施し，畑かんマイスター5人を含む関係者計10人が参加した。

前半は九州農政局主催の営農推進担当者研修に参加し，国営畑かん営農の各地域の取組状況を学び，さらに石垣島での畑かん営農推進事例等を視察した。後半は畑かんマイスター独自で，かぼちゃの省力栽培，マンゴーの低木仕立て等の先進事例を学んだ。

今後とも関係機関と連携し，徳之島での畑かん営農推進に向けて支援していく。



4 4年ぶりの「牛飼い塾」でコスト低減と生産向上技術を学ぶ

11月28日に徳之島地域総合営農推進本部畜産部会及び農業普及課の共催で，就農5年目までの新規就農者を対象とした牛飼い塾を4年ぶりに開催した。当日は，新規就農者等22人，指導農業士4人，関係者20人の計46人が参加した。

研修では，肉用牛の飼養技術や自給飼料生産技術を座学で，島内の篤農家2戸の自給粗飼料を活用したコスト低減の取組を現地で学んだ。現地研修では活発に意見交換がなされた。

今後も関係機関と連携し，厳しい状況下でのコスト低減と生産向上へ向けた支援を継続する。

